

「フムフムあかつか project」今後の予定

「フムフムあかつか project」では、今年度・来年度の2年をかけて、地域の景観資源を活かした「景観まちづくり」に取り組んでいきます。

計7回の開催を予定しています。詳細は決まり次第、改めてお知らせします。

令和5年度

令和6年度

第1回 「赤塚地区のまちあるき」10月29日(日)開催 済
赤塚地区のまちを講師と歩き、歴史・地形・みどりなどの赤塚の魅力を楽しみながら勉強します。(本ニュース p2~3 に掲載)

第2回 「地区を深める」12月5日(火)19時~ 場所:下赤塚地域センター 済
赤塚地区の魅力的なスポットや街並みについて話し合い、赤塚地区の理想の姿について考えます。

アンケート調査の実施予定(1月下旬)

第3回 「地区の将来を考える」3月頃開催予定
「理想の赤塚」を実現していくために、さらに魅力を高めるためのまちづくりの取り組みや街並みを守るための取り組みについて考えます。

令和6年度は、5年度の話し合いやアンケート調査等を踏まえて、実際に実現できるようなモデル事業等を考えていきます。

第4回 春ごろ開催予定 「景観まちづくり骨子案の話し合い」

第5回 春ごろ開催予定 「景観まちづくりの事例紹介」

第6回 夏ごろ開催予定 「モデル事業の検討」

第7回 秋ごろ開催予定 「景観まちづくりプランの策定」

アンケート調査実施のお知らせ

赤塚四・五丁目地区の景観まちづくりに当たり、お住いの皆様のご意見を伺うため、アンケート調査の実施を予定しています。1月下旬ごろにお手元に届くように努めます。ご協力よろしくお願いたします。

「フムフムあかつか project」参加者を募集しています!

フムフムあかつか project の参加者を引き続き募集しています。project を通して「赤塚四・五丁目地区の景観がこうなってほしい!」という皆さんの思いを形にし、実現していくための計画を検討していきます。ご興味・ご意見などある方、専門知識がない方でも OK です。ぜひお気軽にご参加ください。勉強会に参加をご希望される方は、電話・Fax・メールにて受け付けしております。まずは問い合わせ先にご連絡ください。

赤塚四・五丁目地区 景観まちづくりニュース

令和5・6年度にかけて 景観まちづくりの勉強会 を開催します!



板橋区は、赤塚四・五丁目地区の皆さんと一緒に、地域の景観資源を生かした「景観まちづくり」に取り組んでいきます。

令和5年8月から、この地区の景観の魅力を広く知ってもらえるように、だれでも参加できる「ワクワクあかつか Project」をスタートしました。赤塚植物園で巨大地形模型の展示や赤塚にちなんだクイズ、デジタルスタンプラリーを開催するなど、楽しく景観の魅力を知ってもらいました。

これに加えて、令和5年11月から、景観まちづくりに関する勉強会「フムフムあかつか Project」をスタートしました。この勉強会を通して「赤塚四・五丁目地区の景観がこうなってほしい!」という皆さんの思いを形にし、実現していくための計画を検討していきます。専門知識がない方も OK です。ぜひお気軽にご参加ください。

令和5・6年度に赤塚四・五丁目地区で開催される「景観」の催し

フムフムあかつか Project

赤塚四・五丁目地区の景観の魅力を高めるために、「赤塚らしさ」について「フムフム」と深く考える勉強会

ワクワクあかつか Project

赤塚四・五丁目地区の景観の魅力を広く知ってもらえるように、誰でも参加できる「ワクワク」するようなイベント

「ワクワクあかつか project」のようす りんりんちゃんも来てくれました!



本年度から、株式会社地域計画建築研究所(アルパック)が本地域の景観まちづくりの支援を担当しています。

株式会社 地域計画建築研究所
arpak アルパック
Architects, Regional Planners & Associates, Kyoto

板橋区の景観まちづくりに関する問い合わせ先
板橋区 都市整備部 都市計画課 都市景観係
tel.03-3579-2549 (直通) fax.03-3579-5436
email: t-keikan@city.itabashi.tokyo.jp



「フムフムあかつかproject」第1回目勉強会 まちあるき

第1回目のフムフムあかつかproject(勉強会)では、まちあるきを開催しました！



「みどりコース」と「地形コース」に別れて地域の魅力を探りました。

みどりコースは、NPO 法人みどり環境ネットワーク！事務局長の村田さんとともに、赤塚氷川神社などをめぐり、まちのみどりの魅力や効果などを学びました。

みどりコース テーマ① 赤塚地区のみどりの魅力を発見しよう



村田 千尋 さん
NPO法人みどり環境ネットワーク！事務局長
NPO法人みどり環境ネットワーク！事務局長として、身近なみどりを活用した環境学習講座を数多く担当。

振り返るとみどりがある景色



坂を上ってふと後ろを振り返ると、樹林などのみどりが目にとびこんできて、ほっこりします。

神社のみどり



赤塚氷川神社境内や参道には板橋区の保存樹木に指定された樹木が多くあります。

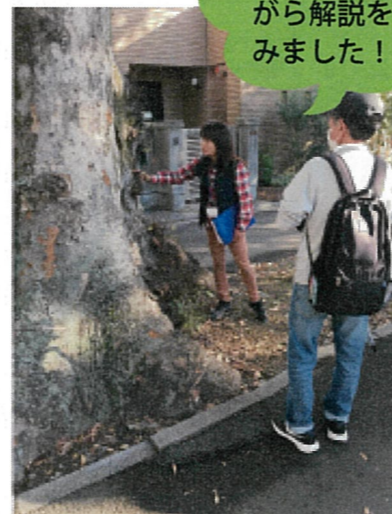
道際にあふれるみどり



心ときめく赤い実 (ピラカンサ)



整っている植込み



みどりに触れながら解説を楽しみました！

地域内を歩いてみると、各お宅からたくさんのみどり（樹木や花・実など）が道際にあふれ出ています。

地形コースは、東京スリバチ学会会長の皆川さんとともに、地区内の坂やスリバチ地形などをめぐりながら、地形と暮らしの関係を学びました。

地形コース テーマ② 赤塚地区の地形を楽しもう



皆川 典久 さん 東京スリバチ学会 会長
2003年に東京スリバチ学会を設立、凹凸地形に着目したフィールドワークで観察と記録を続けている。プラタモリなどのTV番組に出演。主な著書に『凹凸を楽しむ東京「スリバチ」地形散歩』（宝島社）など。



身体を使って登り下りと地形の面白さを体験！

暗渠で水の流れに耳を澄ます



暗渠にはマンホールが多く、地下から水の流れが聞こえます。

地域には、地下に埋設された水路である「暗渠」が多くみられます。

スリバチ地形を体感する



赤塚氷川神社周辺では台地と低地が入り組んでおり、スリバチの形になっています。坂道を下り、また上って振り返るとスリバチの形がよくわかります。

マニアに愛される奥深いまち



地域にはマニアから愛されるポイントが多くあります。階段や暗渠、地形など視点を変わるとたくさんの地域資源が発見できます。写真の階段はなぜだか2つ並んでいて双子のようです。

参加者のみなさんの意見(地域の魅力やまちづくりへの活かし方について)

まちあるき後には参加者のみなさんと意見交換を行いました。「今まで気付かなかったまちの景観の魅力を実感した」などのご意見が寄せられました！その一部をご紹介します。

樹齢約 1800 年の神木を大切に保全したい

標高が高いところから公園の緑が見通せた

今まで住んでいて知らなかった地形。もっと知りたい！

高低差を上手く活かした街並みがつくれないか

まちのみどりを大切に！

まちの景観の魅力を再発見！

地形を活かしたまちづくり

こちらの二次元コードから、当日のまちあるきの様子をご覧ください！

公開期限：令和6年3月31日まで
※無断転載はご遠慮ください。

みどりコース



地形コース

